

平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社マーケットエンタープライズ 上場取引所 東
 コード番号 3135 URL <http://www.marketenterprise.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 泰士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 今村 健一 (TEL) 03-5159-4060
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	2,914	12.3	5	—	△3	—	△6	—
29年6月期第2四半期	2,595	—	△71	—	△67	—	△54	—

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 △3百万円(—%) 29年6月期第2四半期 △57百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	△1.20	—
29年6月期第2四半期	△10.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	1,739	916	52.2
29年6月期	1,536	917	59.4

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 907百万円 29年6月期 912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	17.2	55	—	51	—	29	—	5.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期2Q	5,085,600株	29年6月期	5,077,000株
② 期末自己株式数	30年6月期2Q	174株	29年6月期	174株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期2Q	5,082,730株	29年6月期2Q	5,073,434株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年7月1日から平成29年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や業況感の改善から設備投資も緩やかな増加基調を見せ、雇用・所得情勢も堅調に推移する等、全体としては緩やかに回復しております。また、個人消費につきましては、消費者マインドの改善もあり、従前より引き続き節約志向や低価格志向はありながらも、徐々に持ち直しの動きが続いています。

上記の経済情勢を背景に、リユース市場は堅調な引き続き成長を遂げる中、ネット型リユース事業（販売店舗を有しない、インターネットに特化したリユース品の買取及び販売）を主たる事業とする当社グループにおきましては、前期並びに当期の2期間を中長期的な成長拡大に向けた戦略投資期間と位置づけ、収益基盤の確立に向けた積極的な拠点展開や取扱商材の拡大、周辺事業の創出等、積極的な先行投資を行っております。

具体的には、当第2四半期連結累計期間におきましては、

- ・仕入基盤の更なる拡充
⇒首都圏におけるニーズ拡大に対応すべく、東京都府中市に「西東京リユースセンター」を開設
⇒北海道地区のニーズに対応すべく、北海道札幌市に「札幌リユースセンター」を開設
- ・取扱商材の拡大
⇒中古農機具取扱の本格化
- ・大手企業とのアライアンス強化
⇒ヤフー株式会社との買取サービスにおける提携
- ・ネット型リユース事業のノウハウを活かした周辺事業の創出
⇒宅配レンタルサービスの開始

等を行ってまいりました。

また、先行投資と同時に、今後の効率的な事業運営に向けて、業務プロセスの見直しと長期滞留在庫の処分を実施し、「筋肉質な体質」へと改善を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比12.3%増の2,914,381千円となりました。また、利益面では、長期滞留在庫を処分した影響により売上総利益率が一時的に低下した結果、営業利益が5,193千円（前年同期は71,848千円の損失）、第1四半期におきまして新株予約権発行に伴う営業外費用を計上していることから、経常損失は3,676千円（同：67,753千円の損失）となった結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は6,095千円（同：54,184千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末に比べて202,959千円増加し、1,739,836千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加217,647千円や売掛金の増加33,880千円、及び拠点開設等による有形固定資産の増加46,576千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債については、前連結会計年度末に比べて204,479千円増加し、823,819千円となりました。これは主に、借入金の調達による一年内返済予定の長期借入金の増加49,693千円や長期借入金の増加78,768千円及び、拠点開設のための設備投資等による未払金の増加57,941千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末に比べて1,519千円減少し、916,016千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上6,095千円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて217,647千円増加し、1,043,475千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、124,876千円の資金の増加（前年同四半期は78,449千円の資金の減少）となりました。これは主にたな卸資産の減少119,326千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、27,706千円の資金の減少(前年同四半期は5,293千円の資金の減少)となりました。これは主に新規拠点の開設等による有形固定資産の取得による支出18,161千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、120,477千円の資金の増加(前年同四半期は150,134千円の資金の増加)となりました。これは主に長期借入れによる収入200,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間におきましては、平成29年8月14日の「平成29年6月期 決算短信」にて公表いたしました、平成30年6月期の業績予想に対しておおむね計画通りの進捗となったことから、当該業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	825,827	1,043,475
売掛金	107,303	141,183
商品	352,204	229,968
その他	79,259	99,057
流動資産合計	1,364,596	1,513,684
固定資産		
有形固定資産	60,181	106,757
無形固定資産	4,519	6,952
投資その他の資産	107,581	112,440
固定資産合計	172,281	226,151
資産合計	1,536,877	1,739,836
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,315	24,816
1年内返済予定の長期借入金	144,739	194,432
未払金	114,412	172,354
受注損失引当金	—	5,597
その他	143,641	132,618
流動負債合計	404,109	529,819
固定負債		
長期借入金	215,231	294,000
固定負債合計	215,231	294,000
負債合計	619,340	823,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	304,913	305,275
資本剰余金	284,553	284,915
利益剰余金	323,570	317,474
自己株式	△221	△221
株主資本合計	912,815	907,443
新株予約権	—	1,440
非支配株主持分	4,721	7,132
純資産合計	917,536	916,016
負債純資産合計	1,536,877	1,739,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,595,251	2,914,381
売上原価	1,454,531	1,707,794
売上総利益	1,140,720	1,206,587
販売費及び一般管理費	1,212,568	1,201,393
営業利益又は営業損失(△)	△71,848	5,193
営業外収益		
為替差益	4,490	308
受取保険金	650	—
保険解約返戻金	—	1,311
自販機収入	211	431
その他	853	726
営業外収益合計	6,205	2,778
営業外費用		
支払利息	895	1,085
新株予約権発行費	—	10,149
支払補償費	1,181	305
その他	33	107
営業外費用合計	2,110	11,647
経常損失(△)	△67,753	△3,676
特別損失		
盗難損失	7,394	—
特別損失合計	7,394	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,148	△3,676
法人税、住民税及び事業税	1,827	4,851
法人税等調整額	△19,315	△4,843
法人税等合計	△17,488	7
四半期純損失(△)	△57,660	△3,683
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,475	2,411
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,184	△6,095

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△57,660	△3,683
四半期包括利益	△57,660	△3,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,184	△6,095
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,475	2,411

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,148	△3,676
減価償却費	9,831	7,347
新株予約権発行費	—	10,149
売上債権の増減額(△は増加)	35,568	△33,880
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49,407	119,326
仕入債務の増減額(△は減少)	456	23,501
預け金の増減額(△は増加)	△23,071	△12,537
未払金の増減額(△は減少)	28,695	22,157
その他	△3,969	△6,553
小計	△77,044	125,835
利息及び配当金の受取額	20	4
利息の支払額	△895	△1,085
法人税等の支払額	△3,467	△610
法人税等の還付額	2,937	733
営業活動によるキャッシュ・フロー	△78,449	124,876
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,295	△18,161
有形固定資産の売却による収入	6,007	—
無形固定資産の取得による支出	△3,800	△2,412
その他	△1,205	△7,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,293	△27,706
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△56,950	△71,537
非支配株主からの払込みによる収入	7,000	—
新株予約権の発行による支出	—	△8,709
その他	84	724
財務活動によるキャッシュ・フロー	150,134	120,477
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	66,390	217,647
現金及び現金同等物の期首残高	744,455	825,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	810,845	1,043,475

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。